

大建水発 第317号
平成20年10月9日

国土交通省道路局長 殿

大江町長 渡 邊 兵 吾



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

日頃より道路事業に対してのご尽力に深く感謝申し上げます。

標記の件について、平成20年9月19日国道企第37号により依頼ありましたが、別紙のとおり提出いたします。

平成21年度より、これまでの道路特定財源が一般財源化になるなど、道路をとりまく環境は厳しいものがありますが、立ち遅れている地方道の整備に向けて真摯に取り組んでいる本職に、今後とも格段のご高配をお願い申し上げます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

山形県大江町

1. 利便性の高い交通網の整備について、優先度の高いものから実施をすること。
暮らしの利便性を向上させる道路網の整備は、地域振興につながるものであり、継続している事業については早期完成すべきである。
財源を確保してもらいたい。
2. 積雪の多い地域は、除雪や安全な交通網を維持管理するうえで、難渋しながら住民の生活を守っている現状である。
予算面の支援が必要である。
3. 高速交通網の整備を促進していただきたい。
高速交通網の果たす役割は大きく、高速自動車道へのアクセス向上や幹線道路の整備が必要である。
観光や通勤が広域化しているけれどもふるさとを再認識させる活性化に結びつくものである。
工業団地整備などにより、雇用の場の確保につながる高速道路の整備をお願いしたい。

○ 現状

人口の流出や挙家離村により、山村地域の生活環境を維持するために、苦勞している。荒地が増えるとともに、経営者の高齢化や後継者不足等から農地や山林が荒れ、産業の基盤である道路維持も経費が嵩み、道路の安全維持に苦慮している。

町の幹線道路である県道大江西川線道路改良工事が、なかなか予算がつかないことから進まなく、産業の発展に結びつかない状況にある。地域住民は早期完成を熱望している。

○課題

積雪が多いことから冬期間の生活が不便であり、若年層の都会志向が強く結婚相手に恵まれず、少子化及び人口減につながっている。雇用の場の拡大を図るため、藤田工業団地の整備が必要であり、関連する市街地循環道路の整備を早急に進める必要がある。一日も早く、国道287号に町道を接続したい。

また、通勤時間の短縮などからも、背骨的町の幹線道路である県道大江西川線の早期整備が必要であるが、工事が進んでいない。

②－2 地域の目指すべき将来像

1. 高速自動車道へのアクセス向上。生活道路の安全維持
観光産業としての交流人口の拡大、地域産業の振興、生活環境の利便性による定住促進。
2. 幹線道路の整備促進
 - ① 主要地方道大江西川線は、町の幹線道路であり、全線2車線化を図る。
 - ② 左沢市街地循環道路を整備し、国道287号に連絡する。
 - ③ 積雪期における安全安心道路の維持と整備を図る。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

山形県大江町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	1. 高規格道路の整備促進 2. 幹線道路の整備 3. 生活道路の維持と安全保持	産業振興、定住人口の拡大、広域観光が図られること。	
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	1. 歩道の整備と冬期間除雪の徹底を図る 2. 道路パトロールの実施とガードレール整備を図る 3. 橋梁の点検に伴う長寿命化修繕の早期整備。 危機管理の観点から、橋梁修繕及び架け替え工事に対する高率補助額の支援。	通学児童の安全確保と防災対策、住民生活環境を維持し守ること。	
・少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	・ こどもや障害者、高齢者等が、安全で歩ける道路歩道の整備を図る。 ・ 花のある潤いに満ちた、景観豊かな道路整備を図る	地域におけるごみ拾い等、環境整備活動の輪が広がる。タバコやゴミを捨てない運動の展開。花のある道路が、人の心を育てる情操教育となる。	
⋮			